



## 本号の目次

1. IAEA 総会における IRPA
2. 職業上の放射線防護に関する IAEA/ILO 会合
3. カナダ放射線防護学会
4. AFRIRPA04 会合の報告

## IRPA 出版委員会

委員長: Christopher Clement  
副委員長: Bernard LeGuen

会報編集  
Chunsheng Li, Ali Shoushtarian

加盟学会リエゾン  
Adelene Gaw

ウェブサイト管理運営  
Andy Karam, Chris Malcolmson

ソーシャルメディア管理運営  
Sven Nagels, Chris Malcolmson

メディア情報収集・提供  
Melanie Rickard  
Ralph Thomas  
Sven Nagels

Young-Khi Lim  
Duncan McClure  
Daisuke Sugiyama  
Cheng Wei

## IAEA 総会における IRPA

(左から右に: Franz Kabrt, Renate Czarwinski, Alfred Hefner 於 IRPA ブース 2014)



第 58 回 IAEA 総会が 2014 年 9 月 22-26 日にかけてオーストリア・ウィーンで開催されました。162 の加盟国や国際機関、NGO から 3,000 名を超える参加があり、放射線安全を含む重要な議題について議論されました。IRPA からは、会長の Renate Czarwinski 氏、理事の Alfred Hefner 氏、オーストリア放射線防護学会(ÖVS)の若手研究会の Franz Kabrt 氏が IRPA ブースを設け、来場者に IRPA の活動について紹介しました。2016 年に南アフリカ・ケープタウンで開催予定の次の国際会議 IRPA14 も主な議論の要素となりました。

総会は国際連合事務総長の Ban Ki-Moon 氏のメッセージから始まりました。会合で取り上げられた重要なトピックは、加盟国における原子力安全と政策の強化を伴うものでした。円卓会議では原子力科学と技術分野での女性の役割と機会について議論されました。これはこの分野で女性が不足しているためです。会合中には様々な併催イベントがあり、原子力以外のトピックも取り上げられました。また、医学における課題として、例えば不要な診断撮像の低減などについても議論されました。

それぞれの総会にはいわゆる科学フォーラムも含まれています。今年のテーマは、「放射性廃棄物：困難に立ち向かう - 安全で持続可能な解決のための科学と技術」でした。発表と討論の主なトピックは、将来の開発への期待も含めた、発生から処分までの廃棄物管理に対する統合アプローチの重要性でありました。技術展示では、加盟国の企業が主に原子力工学に関する新しい技術を紹介しました。

総会中には、IAEA 事務局長の天野之弥氏と Czarwinski 会長との二者会合がありました。会合では、世界中の 18,000 人の放射線防護専門家会員を擁する IRPA の使命やビジョン、価値、放射線防護の実践者からのフィードバックの供給、リスクコミュニケーションと公衆理解についての協力、IAEA 安全原則、安全要件、安全指針を実践するための協力の強化について議論されました。Czarwinski 会長は、2016 年にケープタウンで開催される放射線防護に関する次の IRPA 国際会議に天野事務局長にも出席・開会していただき、IRPA 設立 50 周年を祝福していただけるように招待いたしました。

### 国際放射線防護学会

 <https://www.facebook.com/IRPA0>

 <https://twitter.com/IRPA>

 [www.irpa.net](http://www.irpa.net)

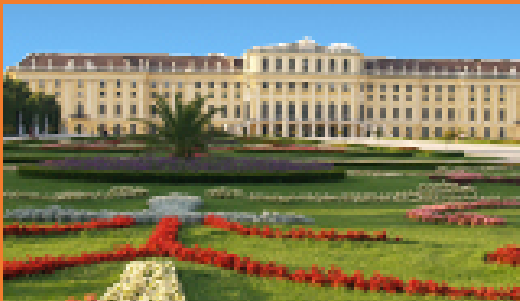
この「IRPA 会報」の日本語訳は、IRPA の公式的な翻訳ではありません。そのため、IRPA はその正確性を保証するものではなく、またその解釈や使用がもたらすいかなる結果についても、一切責任を負いません。

This Japanese translation of "IRPA Bulletin" is not an official IRPA translation; hence, IRPA does not guarantee its accuracy and accepts no responsibility for any consequences of its interpretation or use.

## 職業上の放射線防護に関するIAEA/ILO 会合

国際原子力機関（IAEA）と国際労働機関（ILO）は職業上の放射線防護に関する国際会議：作業者の防護の向上—ギャップ、挑戦、開発をオーストリア、ウィーンのIAEA本部において2014年12月1日から5日まで開催しました。詳細はこちらから。

<http://www-pub.iaea.org/iaeameetings/46139/International-Conference-on-Occupational-Radiation-Protection-Enhancing-the-Protection-of-Workers-Gaps-Challenges-and-Developments>



## カナダ放射線防護学会(CRPA)

(写真と文章は、CRPA®の Jeff Dovyak 会長、RTNM の提供)



カナダ放射線防護学会 (CRPA) は1979年に設立され、1982年に連邦政府によって非営利団体の法人組織となりました。それ以来、CRPAはIRPAの活発な加盟学会であり、カナダの放射線安全に関する専門家の声を代表してきました。CRPAでは、**放射線防護についての科学的知識や教育、専門的意見、政策ガイダンスを提供することで、放射線の安全な利用を確保するよう努めてきました。**

会員ができる限り多くの専門分野から構成され、放射線防護に関連した学問分野や活動（学界、医療、政府、産業、原子力事業など）を代表するよう努めてきました。現在、我々はCRPA®によって登録された43名の放射線安全専門家、23の企業会員、そして、カナダ原子力安全委員会（CNSC）からの15名を含め、300名を超える個人会員を有しています。最近では、カナダ原子力安全委員会CNSCとCRPAでは、利害関係者の興味や期待を尊重し理解しながら、強力な放射線安全文化を促進するために、放射線防護コミュニティの中での解決法を特定し、実行することを協力して進めるための作業会を設置しました。**CRPAについての詳細は、私たちのウェブサイト [www.crpa-acrp.org](http://www.crpa-acrp.org) をご覧ください。**

## AFRIRPA04 会合の報告

(ニュースと写真は IRPA-Egypt の M. A Gomma 会長の提供)



第 4 回アフリカ地域 IRPA 放射線防護会議 (AFRIRPA04)が 2014 年 9 月 13-17 日にかけてモロッコ・ラバットにおいて開催されました。これは、これまで成功裏に開催された南アフリカ・ヨハネスブルグでの AFRIRPA01 (2003)、エジプト・イスマイリアでの AFRIRPA02 (2007)、ケニア・ナイロビでの AFRIRPA03 (2010) に続くものです。AFRIRPA02 を主催した者として、AFRIRPA04 に参加できたことは大変嬉しいことでした。

200 名以上の参加者が AFRIRPA04 に出席しました。多くの国際組織が地域や国の組織と並んで会合中に行われた活動に参加しました。国際組織は IRPA、IAEA、WHO、ILO、UNSCEAR、IOMP、そして PNS です。南アフリカ、エジプト、東アフリカ、モロッコ、カメルーン、チュニジアを含む IRPA のアフリカ加盟学会は、加盟学会フォーラムに参加しました。チュニジアの学会は 2014 年 9 月に IRPA に加盟しました。

この重要な行事の成功のための主要な人物は、IRPA 会長の R.Czarwinski 博士、大会副会長の T. Pather 氏、IRPA 秘書の B.LeGuen 博士、IRPA 理事の E.Gallego 博士、WHO の M. Perez 博士、IOMP の F. Nuesslin 博士、IAEA の I.Shadad 氏、ILO の S.Niu 氏、UNSCEAR の F.Shannoun 氏、モロッコの仲間である A.Choukri 教授、O.K.Hakam 教授、A.Ibnsedikk 教授、そして、科学プログラムまとめ役の J.T.Harris 博士 (USA) です。

会議では、放射線防護、医学物理、放射性物質のセキュリティ、教育と訓練などの様々なトピックについて、毎日のリフレッシャーコース、総会講演、研究論文の発表、ワークショップ、若手科学者表彰フォーラムが行われました。。非電離放射線の放射線防護は今回の会合のトピックには含まれませんでした。いくつかの科学機器会社は放射線防護製品の展示を行いました。

このような大成功の会議を提供して下さった大会長の Choukri 教授に感謝いたします。発表資料と選ばれた写真は大会ウェブサイト: [www.afriipa04.com](http://www.afriipa04.com) からご覧いただけます。第 5 回会議は 2018 年にチュニジアで開催予定です。

